

＜自転車の安全利用促進委員会レポート＞  
福井県教育委員会主催「令和6年度交通安全教室講習会」にて  
「自転車通学指導セミナー」を7月31日(水)に開催  
福井県の教職員約300名が参加

自転車の正しい利用方法や安全安心な自転車の選び方、メンテナンスの重要性を啓発する自転車の安全利用促進委員会と一般社団法人自転車協会は、2024年7月31日(水)に福井県教育委員会主催のプラザ萬象で行われた『令和6年度交通安全教室講習会』にて自転車通学指導セミナーを実施し、福井県内の小・中・義務教育・高等・特別支援学校等の教職員約300名が参加されました。

福井県の中학생、高校生は、47都道府県中の自転車事故件数、第一当事者件数は少ないものの(当委員会調査による)、時間別自転車関連交通事故発生状況は通学や帰宅時間に多いことが発表されており、引き続き注意が必要です。本講演では、福井県の中학생・高校生に自転車事故の多い要因について考えるほか、ヘルメット着用努力義務化によるヘルメットの重要性、他都道府県の自転車通学指導の好事例を紹介しました。

講師の遠藤まさ子(自転車の安全利用促進委員会メンバー／自転車ジャーナリスト)は、「自転車にまつわる交通ルールは、大人も間違ふことがあるので、継続的に小テストを実施することにより理解度が上がるので続けてほしい。交通ルールを守り、自動車の死角に入りにくい場所を走行することによって安全性を高めることができる。」と解説しました。さらに自転車自体の安全性について指導していくことに触れ、「通学自転車は毎日乗るため、BAAマークなどの安全マークが付いた自転車を選び、車検のように定期的にメンテナンスをすることが重要です。夏休みには自転車通学での使用頻度も下がるのでメンテナンスをしっかりと受けるのに良いタイミング。」と説明しました。

講演後は各校で実践している交通指導について、生徒家庭(保護者)への理解を深める方策についてワークショップも行われ、高等学校の教職員と希望者には、電動アシスト自転車等の見学・体験を行いました。ルールや自転車の車体自体の安全性についても改めて理解いただき、教職員の皆様が改めて自転車通学の安全指導について考える機会となりました。

【参加した教職員の感想】

- ・校内の交通安全教室で自転車の運転技術についてとりあげたいと思いました。
- ・地域や保護者にも協力していただき、安全点検、安全教育をしていきたいと思いました。
- ・BAAマークのリーフレットを生徒に配布したいと思います。



## ■参考資料

### 〈講師略歴〉

遠藤 まさ子

自転車の安全利用促進委員会メンバー／自転車ジャーナリスト

自転車業界新聞の記者や自転車専門誌の編集などを経てフリーランスへ転向。自転車・育児用品を中心に取材を行い各誌に寄稿。自転車の中でも子ども乗せ自転車、幼児車、電動アシスト自転車を得意とし、各種メディアで自転車の利活用、安全指導等解説を行う。



### 〈自転車の安全利用促進委員会〉

自転車の安全利用促進委員会とは、一般社団法人自転車協会の協力を受け、安全安心な自転車利用のための啓発活動を行う団体です。自転車の利用者の方々に快適な自転車生活を送って頂くため、購入時に知っておくべき自転車の選び方から購入後のメンテナンス、正しいルール・マナーなどの情報発信を行っています。また、活動の一環として教職員や学生を対象とした、自転車通学指導セミナーも全国で開催しています。

<https://jitensha-anzen.com/>

### 〈BAA マーク〉

BAA マークは、一般社団法人自転車協会が定める自転車安全基準に適合した自転車に貼られています。自転車安全基準には全部で約90項目の検査項目があり、ブレーキ制動性能、フレーム・駆動部の強度、ライトの光度、リフレクターの反射性能などの検査に合格する必要があります。

